

# オープンデータ化支援

3D 都市モデル生成支援により生成した 3D 都市モデルや品質管理の検査機能で検査が完了した 3D 都市モデルには、各種属性情報に個人情報等が含まれる場合があります。3D 都市モデルをオープンデータ化する場合は個人情報等に配慮が必要であることから、個人情報等を削除、または値を階級区分別に分類する等の属性情報の加工が必要です。

この項目では、3D 都市モデルをオープンデータ化するための方法などについて説明しています。

## 目 次

- 1. 公開用データの生成.....2
- 2. 公開用データのダウンロード .....9

## 1. 公開用データの生成

オープンデータ化支援として、公開用データの生成のため機能を提供します。サイトの左側にあるカテゴリの「オープンデータ化支援」をクリックし、表示された画面で「公開用データの生成」をクリックします。



データセット一覧画面が表示され、これまでにシステムに登録した CityGML データの一覧が表示されます。加工をしたい CityGML の「オープンデータ化加工」ボタンをクリックします。



オープンデータ化加工のために CityGML をアップロードした場合、属性項目の設定（品質管理→プロジェクト一覧→データセットの編集→属性項目の設定）の結果はオープンデータ化加工では使用されないため、属性項目の設定の操作は不要です。

オープンデータ化加工のファイルの確認画面が表示されます。まずは、公開用データのルール設定のため、タグを抽出します。タグの抽出には全てのファイルからタグを抽出する方法と1 ファイルからタグを抽出する方法があります。全てのファイルからタグを抽出する場合、ファイル数に応じて表示に時間がかかります。対象となるファイルを確認して、「全てのファイルからタグを抽出」または「1 ファイルからタグを抽出」ボタンをクリックします。

タグの抽出方法	抽出の内容
全てのファイルからタグを抽出	<p>対象となる全てのファイルを読み込み、タグを抽出します。</p> <p>ファイル数に応じて表示に時間がかかります。</p> <p>各ファイルで出現するタグが異なる場合はこちらを選択します。</p> <p>ファイルが大量にある等により、制限時間内に全てのファイルを読めない場合はエラーになります。その場合はすべてのタグを記載したファイル（テンプレート）を用意し、後述する1 ファイルからタグを抽出する方法を選択します。</p>
1 ファイルからタグを抽出	<p>対象となるファイルのうち、1 ファイルを読み込み、タグを抽出します。</p> <p>1 ファイルだけの読み込みのため、表示する時間は速いです。</p> <p>各ファイルで出現するタグが同じ場合はこちらを選択します。</p> <p>また、すべてのタグを記載したファイル（テンプレート）を用意した場合もこちらを選択します。</p> <p>テンプレートはファイル内で最初に検出される必要があるため、ファイル名で並び替えたときに先頭にくるように、ファイル名のメッシュコードを000000 等に設定します。</p>

## オープンデータ化加工

次の3D都市モデルのファイルについて、公開用データを生成します。

まずは、公開用データのルール設定のため、タグを抽出します。

全てのファイルからタグを抽出する場合、ファイル数に応じて表示に時間がかかります。

よろしければタグの抽出ボタンを押してください。

データセットID	32
データセット名	*_bldg_4612.xml
フォーマット	CityGML

全てのファイルからタグを抽出
1ファイルからタグを抽出
一覧に戻る

オープンデータ化のルール設定画面が表示されます。設定画面に表示される列の内容は下表のとおりです。

加工をしたい属性について、「オープンデータ化ルール」を設定します。属性の判別はタグ名称で行います。gen:value 等のタグ名称が同じになる場合は、親ノードの name 属性等が表示される属性名称で判別します。また、uro:KeyValuePair の場合は uro:key の値が表示される属性名称とコードで判別します。

列	画面表示内容
オープンデータ化ルール	対象の属性について、オープンデータ化のルールを選択します。
タグ名称	タグを表示します。
型	タグ名称から判別された型を表示します。 gen:value 等の場合は、親ノードの名称から判別された型を表示します。 型が不明の場合は VARCHAR を表示します。
属性名称	タグ名称から判別された一般的な名称を表示します。 一般的な名称が不明な場合はタグ名称を表示します。 gen:value 等の同じタグ名称になる場合は、親ノードの name 属性を表示します。さらにタグが gen:genericAttributeSet 内にある場合は gen:genericAttributeSet の name 属性を付与した文字列を表示します。 uro:KeyValuePair の場合は「uro_KeyValuePair_」の後に uro:key の値を付与した文字列を表示します。
単位	タグの uom 属性を表示します。
属性値（サンプル）	最初に検索されたタグの値を例として表示します。
コード	タグの codeSpace 属性を表示します。

加工をしたい属性について、「オープンデータ化ルール」より「何もしない」、「削除」、「四捨五入」、「階級区分」のいずれかを選択します。設定が完了したら、「設定内容の確認」をクリックします。

## オープンデータ化のルール設定

各属性項目について、オープンデータ化のルールを設定してください。

データセットID	2
データセット名	*_bldg_4612.xml

オープンデータ化ルール	タグ名称	型	属性名称	単位	属性値 (サンプル)	コード
何もしない	gen:value	VARCHAR	図形面積	m2	485.57033	
何もしない	gen:value	INT	建物地上階数		10	
何もしない	gen:value	INT	建物地下階数			
何もしない	gen:value	VARCHAR	建物構造コード		11	
何もしない	gen:value	VARCHAR	建物用途分類コード		121	
何もしない	gen:value	VARCHAR	建物用途細分類コード			
何もしない	gen:value	VARCHAR	延べ面積換算コード		1	
何もしない	gen:value	VARCHAR	変化フラグ			
何もしない	gen:value	VARCHAR	延べ面積換算係数		1	
何もしない	gen:value	VARCHAR	過年度修正フラグ			
何もしない	gen:value	VARCHAR	調整フラグ			

設定内容の確認

一覧に戻る

全てのファイルからタグを抽出する場合、このページの表示には時間がかかります。そのため、ブラウザを閉じないようにしてください。データの数が多く、タグの抽出に5分以上かかる場合はタイムアウトになります。タイムアウトになる場合はファイルを分割して、複数回にわけて処理を行なうか、すべてのタグを記載したファイル（テンプレート）を用意して1ファイルからタグを抽出してください。なお、タイムアウトになるデータの数の目安は5万件です。

設定内容の確認画面が表示されます。属性の設定内容を確認して、「ルールの詳細設定」ボタンをクリックします。

## 設定内容の確認

次の設定で公開用データを出力します。よろしければ実行ボタンを押してください

データセットID	2
データセット名	*_bldg_4612.xml

属性の設定内容

オープンデータ化 ルール	タグ名称	型	属性名称	単位	属性値（サンプル）	コード
何もしない	gen:value	VARCHAR	図形面積	m2	485.57033	
何もしない	gen:value	INT	建物地上階数		10	
何もしない	gen:value	INT	建物地下階数			
何もしない	gen:value	VARCHAR	建物構造コード		11	
何もしない	gen:value	VARCHAR	建物用途分類コード		121	
何もしない	gen:value	VARCHAR	建物用途細分類コード			
何もしない	gen:value	VARCHAR	延べ面積換算コード		1	
何もしない	gen:value	VARCHAR	変化フラグ			
何もしない	gen:value	VARCHAR	延べ面積換算係数		1	
何もしない	gen:value	VARCHAR	過年度修正フラグ			
何もしない	gen:value	VARCHAR	調整フラグ			

ルールの詳細設定

オープンデータ化のルール設定に戻る

一覧に戻る

「四捨五入」、「階級区分」を選択している場合、ルールの詳細設定画面が表示されます。

「四捨五入」の場合、四捨五入する位を入力して「次の設定」（次の設定がない場合は「実行の確認」）ボタンをクリックします。

HOME / オープンデータ化支援 / 公開用データの生成

カテゴリー

ユーザガイド
データセット管理（データ入力支援）
品質管理（3D都市モデル検証）
オープンデータ化支援
マップ管理（閲覧支援）

ルールの詳細設定（公開用データの生成）

ルールの詳細設定を行ってください。

詳細設定(1/2)

タグ名称	gen:value
属性名称	図形面積
ルール	四捨五入

設定項目	設定内容
四捨五入する位	100

次の設定

ルールの確認に戻る

一覧に戻る

「階級区分」の場合、まず区分の数、タグの名称を入力して「区分の数を反映する」ボタンをクリックします。

HOME / オープンデータ化支援 / 公開用データの生成

カテゴリー

- ユーザガイド
- データセット管理（データ入力支援）
- 品質管理（3D都市モデル検証）
- オープンデータ化支援
- マップ管理（閲覧支援）

## ルールの詳細設定（公開用データの生成）

ルールの詳細設定を行ってください。

詳細設定(2/2)

タグ名称	gen:value
属性名称	建物地上階数
ルール	階級区分

設定項目	設定内容
区分の数	5
タグの変更	タグをgen:StringAttributeに変更します。また、タグの変更に伴い、CityGML出力時にタグの順番がリソートされます
タグの名称	建物地上階数

区分の数を反映する

設定した「区分の数」について、階級区分の設定欄が作成されます。階級区分では属性の値について、「値」に入力した数値と比較して該当する場合、「階級区分設定後の値」に置換する処理を行います。該当しない場合は属性の値はそのまま出力されます。

「値」を入力すると入力内容に合わせて「階級区分設定後の値」が修正されますので、「値」を入力した後、「階級区分設定後の値」を入力します。

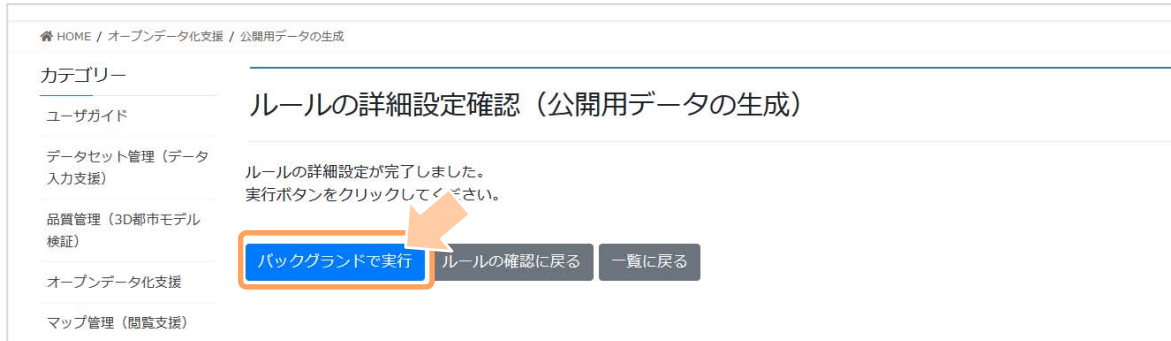
「値」、「階級区分設定後の値」の入力が完了した後、「次の設定」（次の設定がない場合は「実行の確認」）ボタンをクリックします。

階級区分の設定

値		階級区分設定後の値
以上	未満	
0	1	0-1
1	2	1-2
2	3	2-3
3	4	3-4
4		4-

実行の確認 前の設定に戻る 一覧に戻る

「ルールの詳細設定確認」画面が表示され、ルールの詳細設定が完了したことを表示します。  
「バックグラウンドで実行」ボタンをクリックします。



「公開用データの生成実行」画面が表示され、処理がバックグラウンド処理に登録されます。



負荷が大きい処理はキューで待機となる場合がありますが、バックグラウンド処理一覧から状況を確認することができます。



## 2. 公開用データのダウンロード

生成された公開用データは、データセット一覧からダウンロードできます。サイトの左側にあるカテゴリの「データセット管理」をクリックし、表示された画面で「データセット一覧」をクリックします。



データセット一覧ページが表示されます。



「2 操作」タブをクリックすると、一覧の表示が切り替わります。先ほど生成したデータセット名の末尾に「\_オープンデータ用」と記載されたデータの「ダウンロード」ボタンをクリックします。

HOME / データセット管理（データ入力支援） / データセット一覧

カテゴリ

- ユーザーガイド
- データセット管理（データ入力支援）
- 品質管理（3D都市モデル検証）
- オープンデータ化支援
- マップ管理（閲覧支援）

## データセット一覧

新規登録(ファイルアップロード)

1概要 2操作

データセットID	データセット名	情報編集	ZIP解凍	ダウンロード	削除
3	*_bldg_4612.xml	情報編集	ZIP解凍	ダウンロード	削除
4	*_bldg_4612.xml(3DTiles)	情報編集	ZIP解凍	ダウンロード	削除
5	*_bldg_4612.xml_メッシュ	情報編集	ZIP解凍	ダウンロード	削除
6	*_bldg_4612.xml_サブメッシュ	情報編集	ZIP解凍	ダウンロード	削除
7	*_bldg_4612.xml_オープンデータ用	情報編集	ZIP解凍	ダウンロード	削除

確認画面が表示されます。データセットの内容を確認し、「ファイルをダウンロード」ボタンをクリックします。

## ダウンロード確認

データセットID	7
データセット名	*_bldg_4612.xml_オープンデータ用
フォーマット	CityGML
ファイル名	*_bldg_4612.xml
ファイルサイズ	1330261
登録日時	2020-10-21 19:53:03
メモ	

ファイルをダウンロード 一覧に戻る

ダウンロード実行画面が表示され、データがダウンロードされます。

